

動画をご覧ください。



- 動画の内容は予告なく変更・削除されることがあります。
- 通信料金はお客様のご負担となります。

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。ごさいました。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。
- お読みになった後も保管してください。
- 本機を他人に貸す場合は、取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

保証書に購入店などの記載がない場合は、レシートなどを貼り付けてください。

改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますがご了承ください。

乱丁、落丁はお取り換えします。

SGC-180 **18V Li-ion** 充電式草刈機 取扱説明書（保証書付）

用途

雑草の草刈り

用途以外の目的に使用しないでください

目次

はじめに

各部の名称と付属品.....	2
安全上のご注意.....	3

準備

バッテリーと充電器.....	12
組み立て.....	15
刈刃.....	17
調節.....	22
スイッチの操作方法.....	23
運搬.....	24

使用方法

作業前点検.....	25
草を刈る.....	26

保守・点検

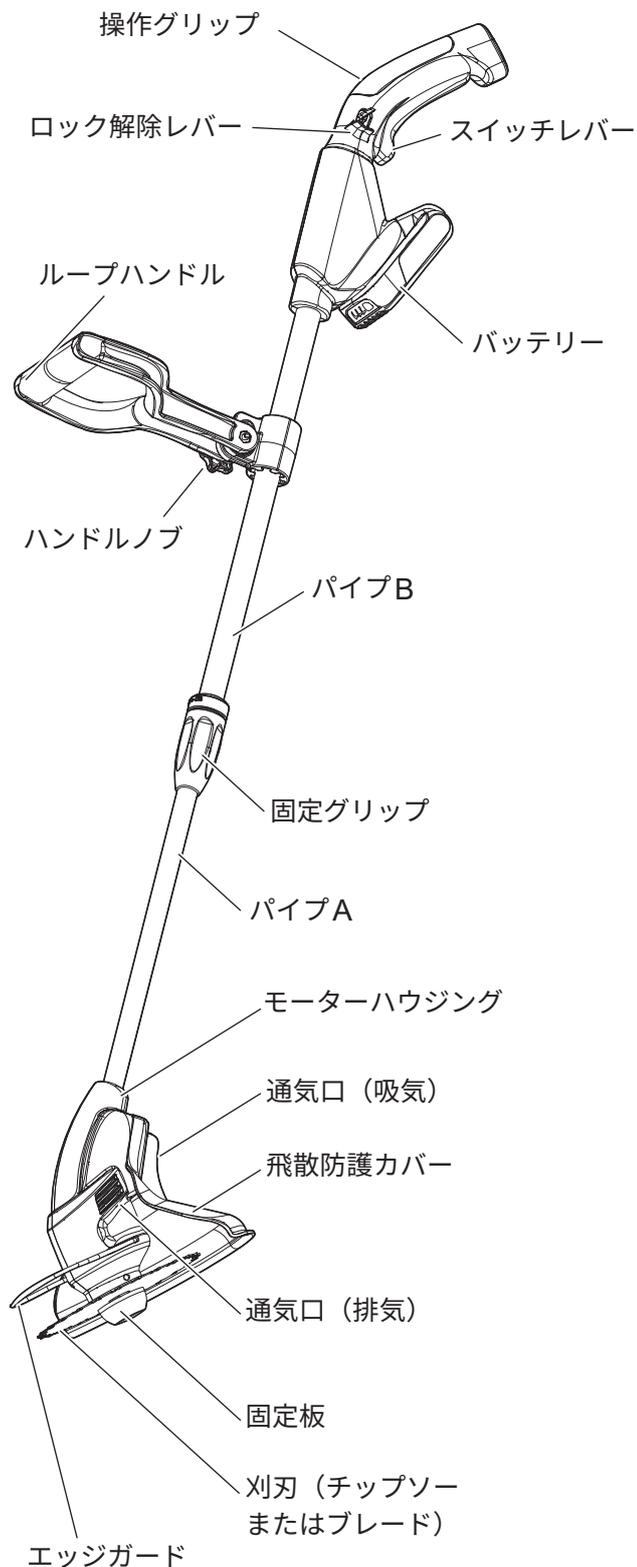
お手入れと保管.....	30
整備.....	31
「故障かな?」と思ったら(故障と処置)....	32

その他

仕様.....	34
パーツのご注文は.....	35
保証書.....	36

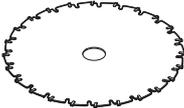
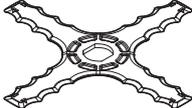
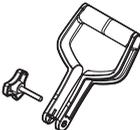
各部の名称と付属品

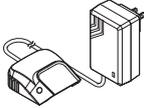
1. 各部の名称



2. 付属品

同梱されている付属品がすべてそろっているか確認してください。

- | | |
|--|---|
|  |  |
| <input type="checkbox"/> 刈刃〈チップソー〉 | <input type="checkbox"/> 刈刃〈ブレード〉
(2枚) |
|  |  |
| <input type="checkbox"/> 飛散防護カバー | <input type="checkbox"/> エッジガード |
|  | |
| <input type="checkbox"/> ループハンドル／ハンドルノブ | |
|  |  |
| <input type="checkbox"/> 六角レンチ | <input type="checkbox"/> ボックスレンチ |
|  | |
| <input type="checkbox"/> 保護メガネ | <input type="checkbox"/> 取扱説明書 (本誌) |

- | | |
|--|---|
|  |  |
| <input type="checkbox"/> 18V バッテリー
(2.0 Ah) 〈PA-332〉 | <input type="checkbox"/> 18V 急速充電器 II
〈PA-430〉 |

18V バッテリー (2.0 Ah) と18V 急速充電器 II は付属していない機種もあります。

安全上のご注意

使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	人が死亡、または重傷を負うおそれの高い内容です。
 警告	人が死亡、または重傷を負うおそれのある内容です。
 注意	人が傷害を負う、および本機やほかの財産に物的損害が発生するおそれのある内容です。

- お守りいただく内容を区分して説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず守っていただく「実行」の内容です。
---	---

- その他の表示

 ここがポイント！ 正しい操作のしかたや守っていただく要点などを示しています。

- 本機に関すること

 危険
 作業中は半径15m以内に他の人や動物を近づけない 2人以上の作業時はお互いに15m以上の間隔を取り、監督者は半径15m以内に人や動物などが近づいた場合に直ちに本機を停止し作業を中止するように注意する
 本機を使用している人に近づくときは、使用者から15m以上離れた位置で合図し、本機の停止を確認する
 刈刃と飛散防護カバーは純正品、指定部品を使い、指定の位置に取り付ける 小石の飛散など、ケガの原因になります。また、モーターの焼きつきなどの故障の原因になります。

 使用前に半径15m以内に他の人や動物がいないことを確認する 高所作業のときは、下に他の人や動物がいないことを確認する
 次のときは本機を使用しない ・ 疲れているとき、身体が不調のとき ・ 酒類や薬を飲んで正常な運転操作ができないとき ・ 夜間や悪天候などで視界が悪いとき
 部品類は必ず取扱説明書に従って純正品、指定部品を指定の位置に確実に取り付ける
 六角レンチは本体回転軸の奥までしっかりさし込む さし込まれていないと固定ナットの締め付けが不十分となり、作業中に刈刃が外れるおそれがあります。

危険

-  運搬の際は、強い衝撃を与えない、水にぬらさない、炎天下の車中など高温になるところ、火気のそば、直射日光の当たるところに長時間放置しない
バッテリーの劣化や漏液が起こる原因になります。
-  刈刃を樹木やブロックなどに当てない
キックバック（跳ね返り）が起こりケガをするおそれがあります。
-  爆発物や可燃性の液体、ガス、粉じんのある場所で使用しない
-  飛散防護カバーを外した状態で使用しない
小石が飛散するなど事故やケガのおそれがあります。
-  傾斜地や崖、また溝や用水路など、本機が転倒・落下するおそれのある場所では、絶対に使用しない
思わぬ事故につながります。

警告

-  刈刃にひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しない
異常があると刈刃が破損し、ケガの原因になります。
-  刈刃の取り付け、取り外しには、必ず付属のボックスレンチを使用する
付属工具以外で締め付けた場合、締め過ぎや締め付け不足となり、事故の原因になります。
-  刈刃を取り扱うときは、必ずスイッチレバーから手を放して本機からバッテリーを取り外し、刈刃の回転が停止したことを確認する
ケガの原因になります。
-  刈刃の固定ナット、固定板は消耗品のため、摩耗や変形があれば交換する
-  刈刃を取り扱う際や点検時は、必ず保護手袋を着用する
ケガの原因になります。
-  刈刃の取り付けは、刈刃の取付穴を刃受金具の凸部に確実にはめ込む
正しく取り付いていないと異常振動し、事故の原因になります。
-  スイッチに異常がないか点検する
スイッチで始動および停止ができない場合は、使用せず修理をご依頼ください。そのまま使用すると、事故の原因になります。また、本機の寿命を縮めます。
-  バッテリーを取り付ける前に、工具などは必ず取り外す
本機を始動したときに取り付けた工具などが回転して、ケガの原因になります。
-  刈刃は刃物軸最高回転数が本機の回転数よりも高い許容回転数のものを使用する
刈刃の許容回転数が低いと刈刃が破損し、事故の原因になります。

警告

-  作業場は明るく、また整理整頓する
作業場が暗く、また散らかっていると事故の原因になります。
-  作業前に作業場付近に、電線や電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、充分確認する
誤って電線を切断すると、感電のおそれがあります。本製品は感電防止の絶縁処理は行っていません。
-  妊娠しているときは本機を使用しない
-  周囲に次のものがないことを確認してから作業する
 - ・ 通電している電気設備・機械本体
 - ・ 火気のあるもの
 - ・ 鋭利なものなど飛ぶと危険なもの
-  小石、針金、空き缶、空き瓶などの障害物は取り除いてから作業する
刈刃が障害物に当たり、障害物の飛散、本機のキックバック（跳ね返り）、刈刃の破損などにより事故の原因になります。
-  弊社指定（外径160mm）の刈刃を使用する
外径が160mmを超える刈刃を使用するとケガの原因になります。
-  付属品を正しく確実に取り付けしてから作業を行う
-  本機の組み立てや付属品を取り付ける、または取り外すときは、必ず本機からバッテリーを取り外す
バッテリーを取り付けたまま行くと事故の原因になります。
-  ロック解除レバー、スイッチレバーに指をかけて運ばない

-  運搬の際は、ボルト、針金、金属工具などが本機およびバッテリー、充電器に触れないようにする
バッテリーがショートし、発熱、破裂、発火のおそれがあります。
-  本機を車に積んだまま長時間悪路を走行しない
本機の破損や事故の原因になります。
-  本機を立てて運搬しない
本機が転倒し、思わぬ事故の原因になります。
-  作業に適した服装で作業する
長い髪は束ね、帽子やヘアカバーなどで覆う
巻き込まれケガの原因になります。
(25ページ「2. 服装について」参照)
-  本機、付属品や工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて使用する
指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
-  正しく持ち、周囲を確認し、刈刃から手や足が離れていることを確認してからスイッチレバーを握る
刈刃は高速で回転するため、危険です。
ケガや事故の原因になります。
(26ページ「1. 作業時の確認事項」参照)
-  近くにいる人に本機が接触しないように注意する
ケガや事故の原因になります。
-  ロック解除レバーを押した状態で固定しない
-  雨の中や水のかかる場所では使用しない
ぬれた手で操作しない
雨や水でぬれている、またはぬれた手で本機を操作すると、故障や感電の原因になります。

警告

-  本機が動かない、発熱や発煙、また音や振動など異常を感じたときは、直ちに使用を中止する
思わぬケガや事故の原因になります。
運転を停止し、バッテリーを取り外して、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
-  作業中は、本機を両手で確実に保持するその際、ハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにする
確実に保持していないと、ケガの原因になります。
-  本機の操作は慎重に行う
-  本機でぬれた草や木や枝を切らない
本機を雨の中で使ったり、水洗いしない
-  刈刃で打つ、たたくなどの方法で草刈り作業をしない
キックバック（跳ね返り）や刈刃が破損し、事故の原因になります。
(28ページ「キックバック（跳ね返り）について」参照)
-  作業中にモータハウジングを触らない
モーターの熱によりヤケドのおそれがあります。
-  腰より高い位置での作業はしない
-  作業中および運転を停止した直後は刈刃に手足や顔などを近づけない
刈刃はすぐに止まらないので、ケガをするおそれがあります。
-  作業中に刈刃が石などの障害物に当たったときは、すぐに本機を停止させ異常がないか調べる
そのまま使用すると事故の原因になります。

-  キックバック（跳ね返り）防止のため、刈刃を右から左に操作して草刈り作業を行う
キックバック（跳ね返り）が起これば、本機が思わぬ方向に動き、ケガや事故の原因になります。
-  枝打ち作業・壁や岩などに生えている草刈り作業などには使用しない
-  次の場所では使用しない
 - ・雨上がりなど足元が滑りやすい場所
 - ・傾斜地、ハシゴや木に登るなどの不安定な場所転倒してケガの原因になります。
-  取り扱い方法、作業のしかた、周りの状況など充分注意して慎重に作業する
-  髪、衣服、手袋などを刈刃や回転する部分、吸込口・排気口などに近づけない
手ぬぐいやタオルを首や腰から下げて作業しない
巻き込まれ、ケガの原因になります。
-  本機に幼児・子ども、動物が触れないよう、隔離措置をして安全な場所で使用する
-  本機の能力に合った負荷（切断対象、運転時間など）で作業する
無理な作業は事故の原因になります。また、作業能力が悪くなります。
-  作業中は本機に物をかぶせない、燃えやすい物を近づけない
モーターの熱により過熱し、発火や故障の原因になります。
-  本機に水をかけない
感電や漏電による事故やケガの原因になります。
-  本機を雨の中やぬれた場所、湿気の多いところに保管しない
-  本機に水をかけて洗わない
バッテリーの異常（発熱など）によるケガ、感電および本機の故障のおそれがあります。

警告

-  本機を使用しないときは、屋内に安全に保管する
本機からバッテリーを取り外し、子どもの手の届かない所、湿気が少なく鍵のかかる所に保管してください。
(30ページ「2. 保管」参照)
-  点検を行う
点検が不十分だと、事故の原因になります。
(25ページ「1. 作業前点検」参照)
-  保管時はバッテリーを必ず取り外す
思わぬ事故の原因になります。
-  修理技術者を除き、本誌記載内容以外の分解や修理、改造を絶対に行わない
異常動作してケガをするおそれがあります。
-  点検・整備の際は、バッテリーを本機から取り外す
本機が誤始動し、ケガの原因になります。
-  純正品、指定部品を使用する
事故やケガの原因になります。

注意

-  ぶついたり落としたりしたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検する
破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。
-  極端な高温や低温の環境下では使用しない
充分な性能を得ることができません。
-  作業前にネジのゆるみや欠落した部品、破損などがないか確認し、異常がある場合は使用を中止する
不完全な状態の本機を使用するとケガの原因になります。
-  万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場近くに備え付ける
救急箱から持ち出したものは、直ちに交換品を補充してください。
-  運搬の際は、バッテリーを取り外す
本機の誤始動や破損や金属端子のショートの原因になります。
-  本機に過度の衝撃を加えない
-  無理な体勢で作業をしない
足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。
-  雑草や刈った草のくずなどで通気口をふさがない
モーターの故障の原因になります。
-  定期的に休息をとる
本機は機能上、使用時に振動が発生するため、長時間の連続使用は体に負担をかけることがあります。また、短時間であっても、作業中に指や手、腕、肩などに疲れを感じる場合があります。
-  刈刃が地面や樹木、その他の障害物に触れていないことを確認してからスイッチレバーを握る
本機はスイッチレバーを握ると同時に刈刃が回転します。

安全上のご注意

注意

-  屋外に長時間放置しない
-  ハンドルで本機をぶら下げたり、ハンドルに無理な力をかけたりしない

■ バッテリー・充電器に関すること

危険

-  **バッテリーは、本機および指定の充電器および機器のみに使用する**
指定の充電器および機器以外に使用すると、バッテリーに異常な電流が流れるなどの可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
-  **水・海水などでぬらさない**
発火または故障のおそれがあります。
-  **バッテリーを直射日光の当たる場所、炎天下の車内、熱源のそばなど高温になる場所で使用または放置しない**
バッテリーが漏液するおそれがあります。
-  **バッテリーを分解・改造・破壊しない**
漏液、破裂、発火のおそれがあります。
-  **バッテリーを火の中に投入しない、加熱しない、強い衝撃を与えない**
発熱、破裂、発火の原因になります。
-  **弊社指定の充電器・バッテリーを使用し、弊社指定の充電条件を守る**
その他の充電条件（指定以外の温度、指定以外の高い電圧や大きな電流、または改造した充電器など）で充電すると、発熱、破裂、発火の原因になります。
-  **充電器や機器への取り付けがうまくいかない場合は無理に取り付けない**
バッテリーはプラスとマイナスの向きが決められています。充電器にプラスとマイナスを逆に取り付けると、バッテリーが逆に充電され内部で異常な反応が起こり、バッテリーを漏液、発熱、破裂、発火させる原因になります。
-  **火のそばや、炎天下の自動車内などで充電しない**
充電は使用環境温度範囲（34ページ「1. 主な仕様」参照）で行ってください。
バッテリーを発熱、破裂、発火させる原因やバッテリーの性能や劣化につながるおそれがあります。

危険

-  電源プラグに合わない電源コンセントやさし込みのゆるいコンセントは使用しない
また、電源プラグは改造しない
火災や感電の原因になります。

警告

-  バッテリーと充電器の接続部、充電端子部や内部、電源プラグに金属製の工具やピンをさし込まない
ゴミを付着させない
ショートやトラッキング*により発煙、発熱、破裂、発火し、感電、ヤケドの原因になります。
※トラッキング…コンセントとプラグの隙間にほこりが溜まり、そのほこりが空気中の湿気を吸収することで、漏電し発火する現象のこと。
-  電源プラグは根元まで確実にさし込む
感電や発火の原因になります。
-  電源プラグを抜くときは、コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
コードがショートし、発火や感電の原因になります。
-  充電器の電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く
トラッキングが発生して発火の原因になります。
-  バッテリー・充電器は、乳幼児・子ども手の届かないところに保管する
-  バッテリーは、所定の充電時間以上充電しない
充電が所定の時間を超えても完了しない場合は、充電をやめる
バッテリーが発熱、破裂、発火するおそれがあります。
-  充電器は指定のリチウムイオンバッテリーのみに使用する
他のバッテリーの充電や充電以外の用途には使用しないでください。充電器や接続されたものが発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドのおそれがあります。

警告

-  **必ず指定された電源を使用する**
(34ページ「1. 主な仕様」参照)
他の電源で使用すると、充電器に過大電圧が加わったり過大電流が流れたりし、バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や、充電器の発煙、発熱、発火による感電、ヤケドの原因になります。
-  **ぬれた手で充電器の電源プラグの抜き差しをしない**
感電や発火の原因になります。
-  **バッテリーはカチッと音がするまでさし込み、本機に確実に取り付ける**
取り付けが不十分な場合、外れて事故の原因になります。
-  **コードを持って充電器を運ばない**
コードを引っ張らない、傷つけない、無理に曲げない
コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけない
コードの上に物を載せない
コードの破損やショートにより、発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドの原因になります。
-  **本機の組み立てや付属品の取り付けや取り外しの際は、スイッチレバーから手を離し、本機からバッテリーを取り外す**
バッテリーを取り付けたまま行くと本機が不意に始動し、事故の原因になります。
-  **バッテリーを取り付ける際は、スイッチレバーに手を触れない**
不意の始動により事故の原因になります。
-  **使用後および点検、保管時はスイッチレバーから手を離し、本機からバッテリーを取り外す**
バッテリーを取り付けたまま行くと本機が不意に始動し、事故の原因になります。

-  **バッテリー液が目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗った後、医師の治療を受ける**
放置すると、目に障害を与える原因になります。
-  **コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない**
発火のおそれがあります。
-  **バッテリーや充電器を電子レンジや高圧容器に入れない**
急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因になります。
-  **使用時や充電時、保管時にバッテリーからの異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついたときは、本機あるいは充電器よりバッテリーを取り外し使用しない**
発熱、破裂、発火の原因になります。
-  **バッテリーが漏液したり異臭がしたりするときは直ちに火気より遠ざける**
漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。
-  **運搬時はバッテリーが動かないようにしっかりと固定し、端子部に金属などが接触しないように保護する**
破損や金属端子のショートのおそれがあります。

注意

-  バッテリー液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す
皮膚がかぶれるなどのおそれがあります。
-  バッテリーの上に可燃物を載せない
バッテリーを覆わない
バッテリーが発熱、破裂、発火するおそれがあります。
-  充電器の上に物を載せない
落下しやすいところに置かない
外部の力や衝撃で充電器の内部回路が破損して、使用時に発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドの原因になります。
-  充電器およびバッテリーの端子に手を触れない
感電のおそれがあります。また、充電器およびバッテリーが静電気により破損する可能性があります。
-  湿気やほこりの多い場所で使用または保管しない
発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドのおそれがあります。
-  充電中に異常を感じたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜く
発熱、破裂、発火し、感電、ヤケドの原因になります。
-  充電時以外は、充電器の電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による漏電、発火、感電の原因になります。

バッテリーと充電器

1. 充電について

お買い上げ時や長期間充電しなかった場合は、ご使用前に満充電になるまで正しく充電してください。バッテリーがすでに満充電のときは、充電器のランプは赤点灯（充電中）にならず緑点灯（満充電）のままです。（13ページ「充電器のランプの見かた」参照）



ここがポイント！

- バッテリーの温度が適切でないと充電ができないことがあります。バッテリーが高温の場合は、風通しの良い日陰などに置いていったん冷ましてください。
- 充電中にバッテリーや充電器が温かくなりますが、異常ではありません。

1.1 バッテリーを長持ちさせるには

- 本機の力が弱くなってきたと感じたら使用を中止し、充電してください。
- 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- 充電は使用環境温度5～40℃の範囲で行ってください。
- バッテリーの保管場所にご注意ください。（30ページ「2. 保管」参照）
- 長期間ご使用にならない場合、バッテリーは充電してから保管してください。



バッテリーの寿命について

- バッテリーは充放電を繰り返すと次第に容量が少なくなり、交換が必要になります。これはバッテリーの特性によるものであり、故障ではありません。満充電後も作業できる時間が短くなるようであれば、バッテリーを交換してください。
- リチウムイオンバッテリーは、メモリー効果（継ぎ足し充電を繰り返すと、バッテリー残量が見かけ上、低下する現象）がないため、タイミングを気にすることなく、いつでも継ぎ足し充電ができます。
- 寒い環境ではバッテリーの容量が少なくなり、作業時間が短くなる場合があります。暖かくなる（バッテリーが適温になる）と回復します。
- バッテリーは使用しなくても自然に放電します。自然に放電した分は、使用前に充電すれば回復します。

1.2 バッテリーの回収について

使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。弊社窓口（裏表紙参照）までお問い合わせいただくか、購入店またはお近くの弊社製品お取扱店へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーはリサイクルへ

Li-ion



ここがポイント！

- 本機および充電器を廃棄するとき、バッテリーを取り付けたまま一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。

1.3 その他の注意事項

- バッテリーからの異臭や液漏れがないか定期的に確認してください。
- 延長コードを使用するときは、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
〈使用できる延長コードの目安〉
太さ（導体公称断面積）…2.0 mm²
長さ…30 m まで
- バッテリー端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪いと、電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。

バッテリーと充電器

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

1.4 充電のしかた

1) DCプラグをアダプターにさし込む

2) 電源プラグをコンセントにさし込む

充電器のランプが緑点灯します。

3) バッテリーをアダプターに取り付ける

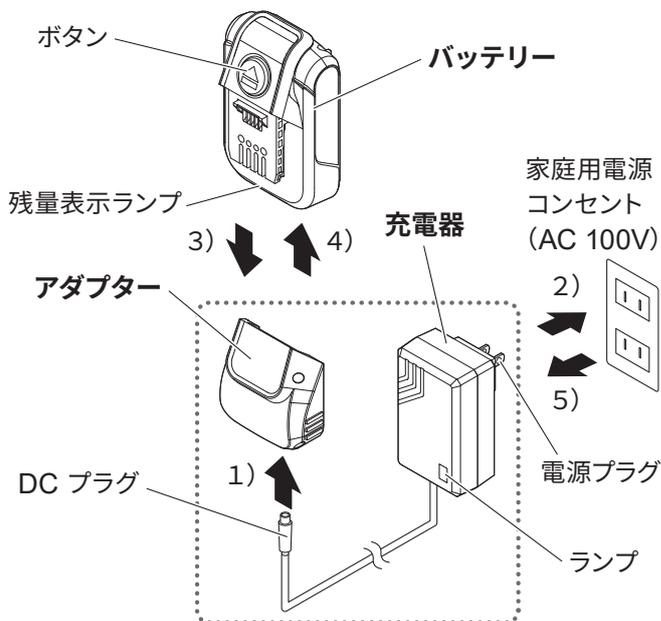
充電器のランプが赤点灯に変わり、充電開始をお知らせします。

ランプが赤点灯から緑点灯に変われば充電完了です。

4) 充電が完了したら、バッテリーをアダプターから取り外す

バッテリーのボタンを押しながら取り外してください。

5) コンセントから充電器の電源プラグを抜く



※充電完了後、バッテリーはアダプターから取り外してご使用ください。

■ 充電器のランプの見かた

充電器	状態
■ 緑点灯	充電していない
■ 赤点灯	充電中

注1) 充電器のランプが緑点灯から赤点灯に変わらないときは、すでに満充電の可能性があります。バッテリーの残量確認ボタンを押し、バッテリー残量を確認してください。

注2) バッテリーが高温（使用直後や、暑い自動車内に保管したときなど）の場合、充電できないことがあります。風通しの良い日陰などに置いてバッテリーを冷ましてください。

注3) 充電器のランプが点灯しないときは、充電器の故障が考えられます。

■ バッテリーの残量表示ランプの見かた

バッテリーの残量確認ボタンを押している間、バッテリー残量に応じてランプが白点灯します。



残量表示ランプ	状態		
<table border="1"> <tr> <td>↗ 点灯</td> <td>↖ 消灯</td> </tr> </table>	↗ 点灯	↖ 消灯	
↗ 点灯	↖ 消灯		
 2~3個点灯	使用可能		
 1個点灯	充電が必要		
 消灯	使用不可		

注1) バッテリーが高温（暑い自動車内に保管したときなど）の場合、残量があっても動作しないことがあります。風通しの良い日陰などに置いてバッテリーを冷ましてください。

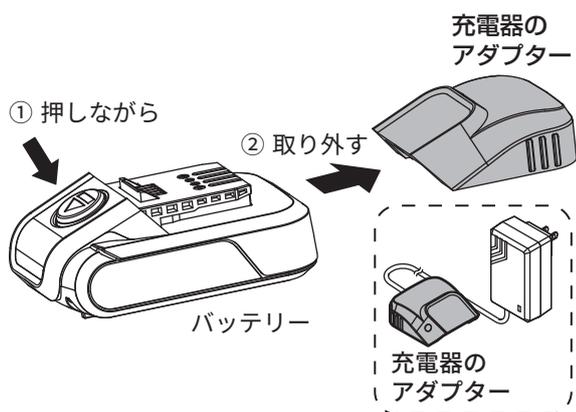
注2) 残量確認ボタンを押しても残量表示ランプが点灯しないときは、故障が考えられます。

バッテリーと充電器

2. バッテリー

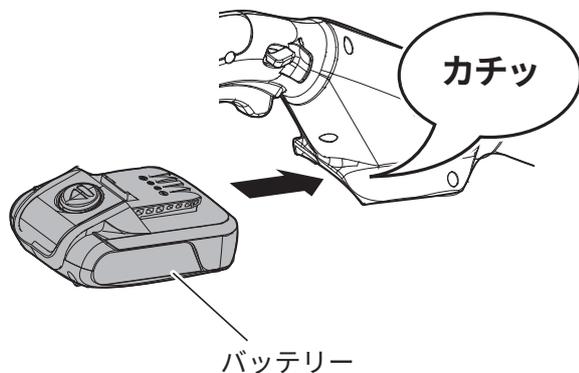
2.1 取り付け

充電後は、バッテリーから
充電器のアダプターを
取り外してください。



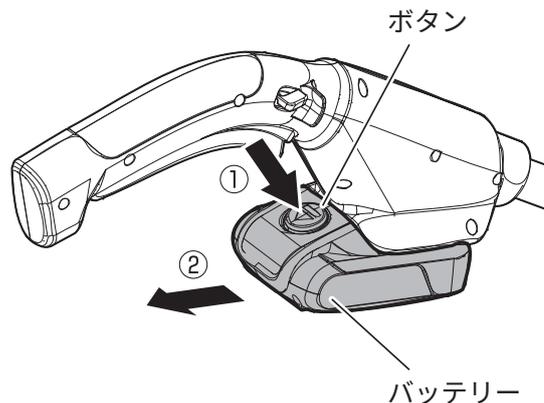
充電器のアダプターを取り外さないと
バッテリーを本機に
取り付けることができません。

- 1) バッテリーを本機の溝に合わせて
「カチッ」と音がするまで押し込む



2.2 取り外し

- 1) バッテリーのボタンを押しながら (①)
スライド (②) させる



組み立て

作業前に必ず3ページ「安全上のご注意」をお読みください。

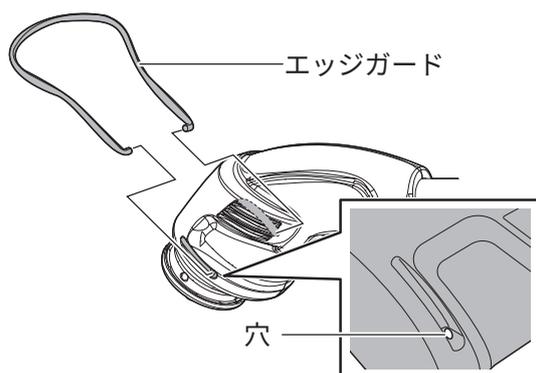


ここがポイント！

- 作業前に必ずバッテリーを取り外してください。
- 必ず手袋をしてください。

1. エッジガードの取り付け

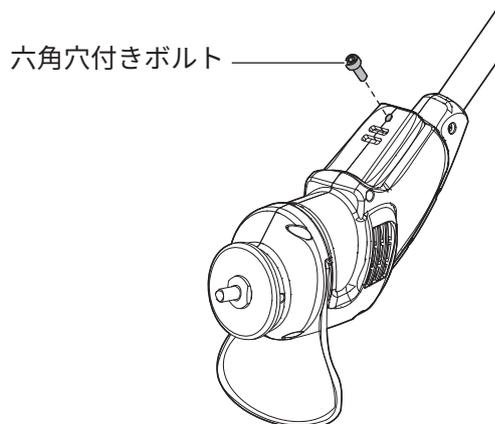
- 1) エッジガードの先端部を、本機の溝に合わせてスライドさせ穴に入れる



2. 飛散防護カバーの取り付け

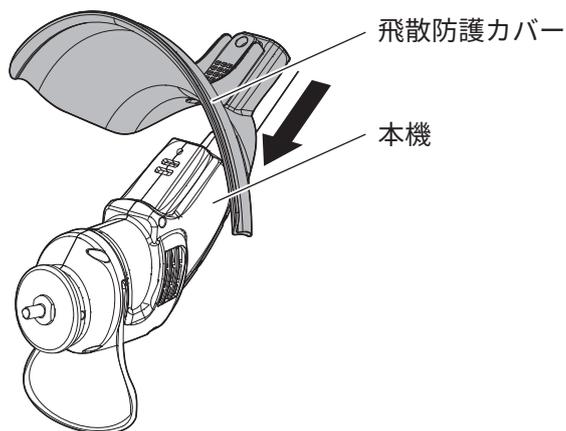
飛散防護カバーは作業者の方に異物が飛ぶのを防ぐ役目があります。必ず所定の場所に確実に取り付けてください。

- 1) 仮止めされている六角穴付きボルトを外す
六角穴付きボルトは本機に仮止めされています。



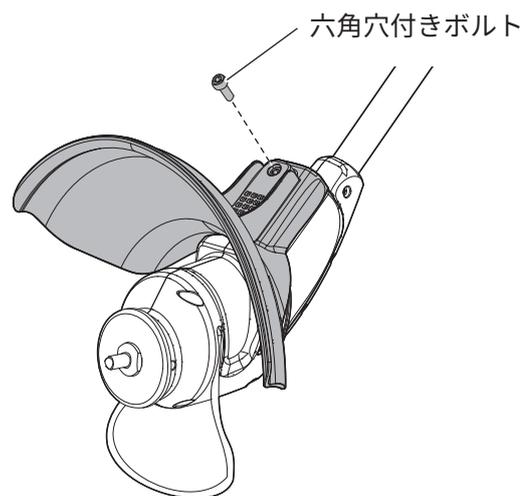
- 2) 溝に合わせてスライドする

本機の溝に合わせて飛散防護カバーを取り付けます。



- 3) 六角穴付きボルトで固定する

手順1) で外した六角穴付きボルトを飛散防護カバーに取り付けてください。



はじめに

準備

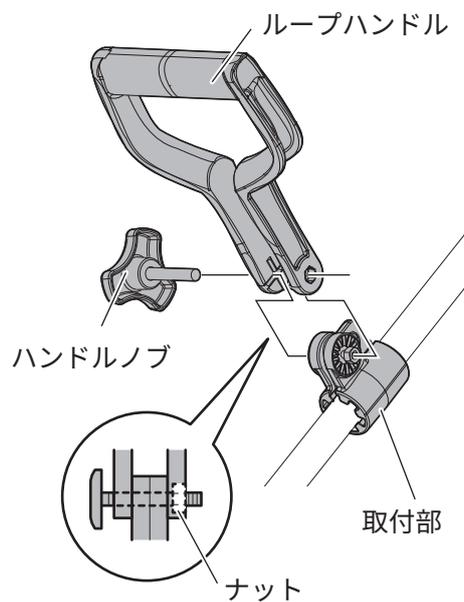
使用方法

保守・点検

その他

3. ループハンドルの仮止め

- 1) 本機の取付部にループハンドルを取り付け、ハンドルノブを仮締めする



ここがポイント！

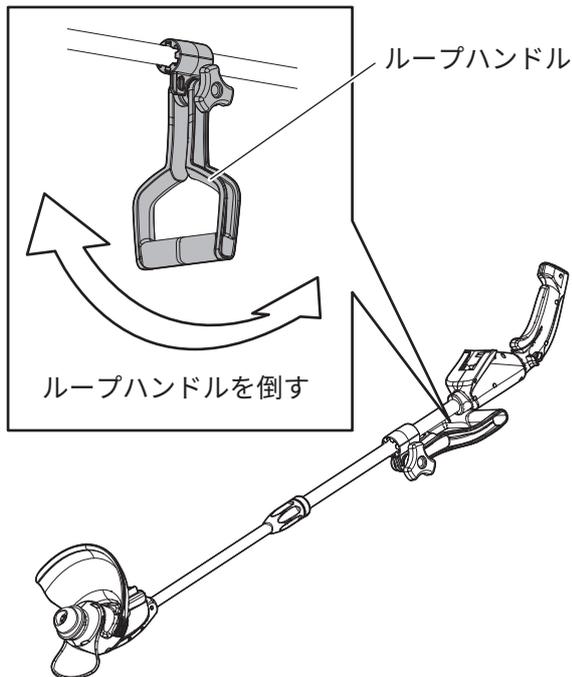
- ハンドルノブはどちらからでも取り付け可能です。

刈刃

1. 準備

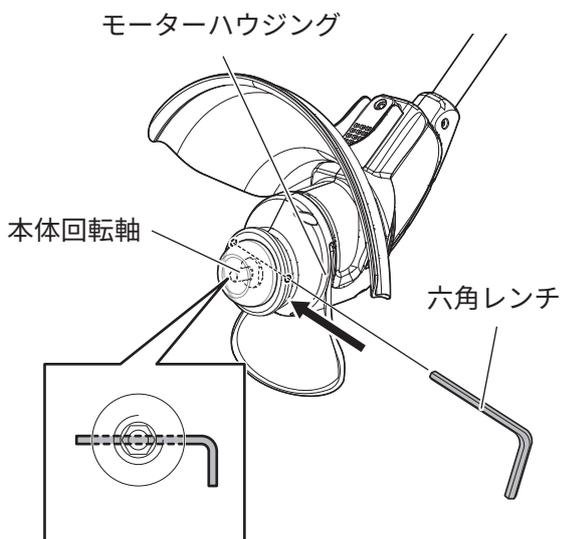
1) 刈刃の取り付けを行うために、本機を図のような状態にする

ループハンドルを立てたままの状態で作業をすると、不安定になりケガや破損の原因になります。



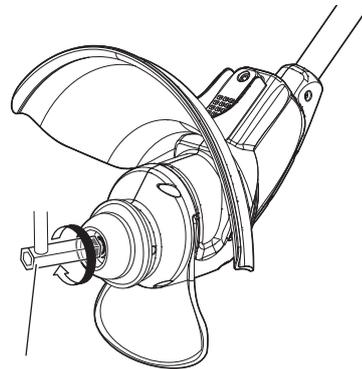
2) 六角レンチをモーターハウジングの穴から奥の本体回転軸の穴までさし込む

本体回転軸が回らないよう固定されます。



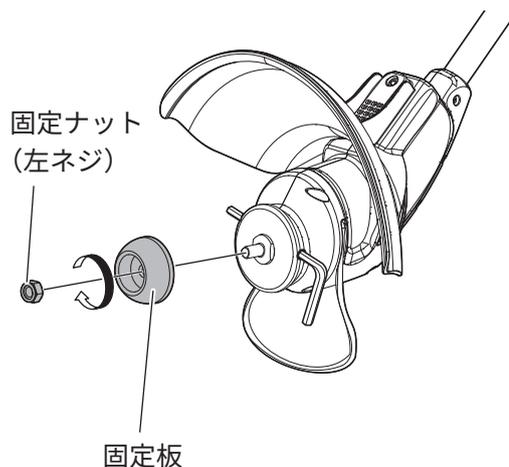
ここがポイント！

- モーターハウジングと本体回転軸の穴の位置が合わないときは、固定ナット（左ネジ）を付属のボックスレンチで回して調節してください。



ボックスレンチ

3) 固定ナット（左ネジ）を付属のボックスレンチで時計回りに回して固定板を取り外す



はじめに

準備

使用方法

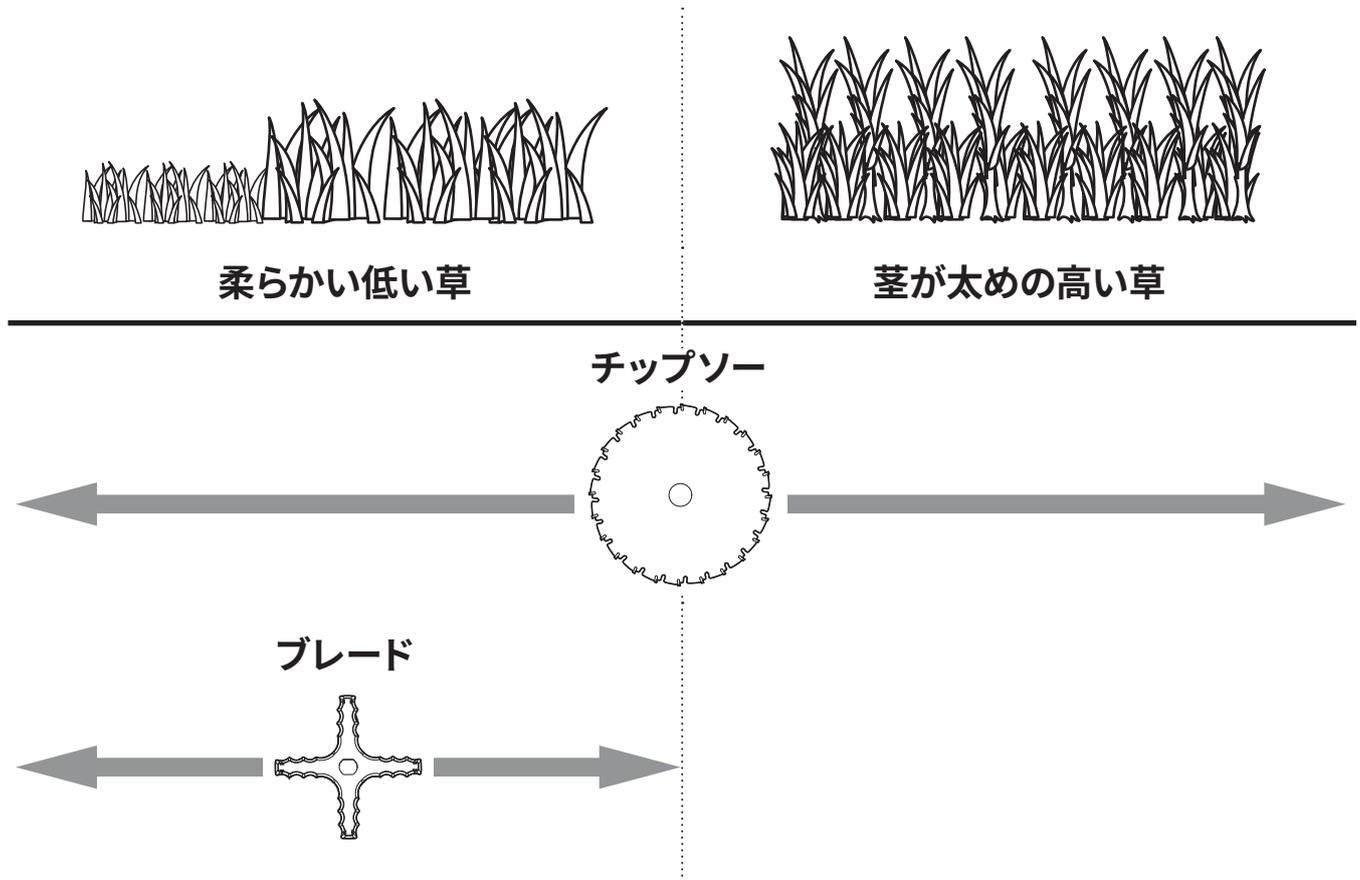
保守・点検

その他

刈刃

2. 取り付け

1) 刈刃（チップソーまたはブレード）を選ぶ



■ チップソー

- 柔らかい草から茎の太い草、茂った雑草に
- コンクリートや岩に当たると火花が散ったり、刃が欠けたりすることがあるので注意が必要
- チップソーも消耗品
ひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がある場合は交換が必要

■ ブレード

- 芝生や柔らかい草、キワ刈りに
- 硬いものにあたっても比較的安全
- 研ぐことができないため、切れ味が落ちれば交換が必要
- 表と裏、両面使えて経済的



ここがポイント！

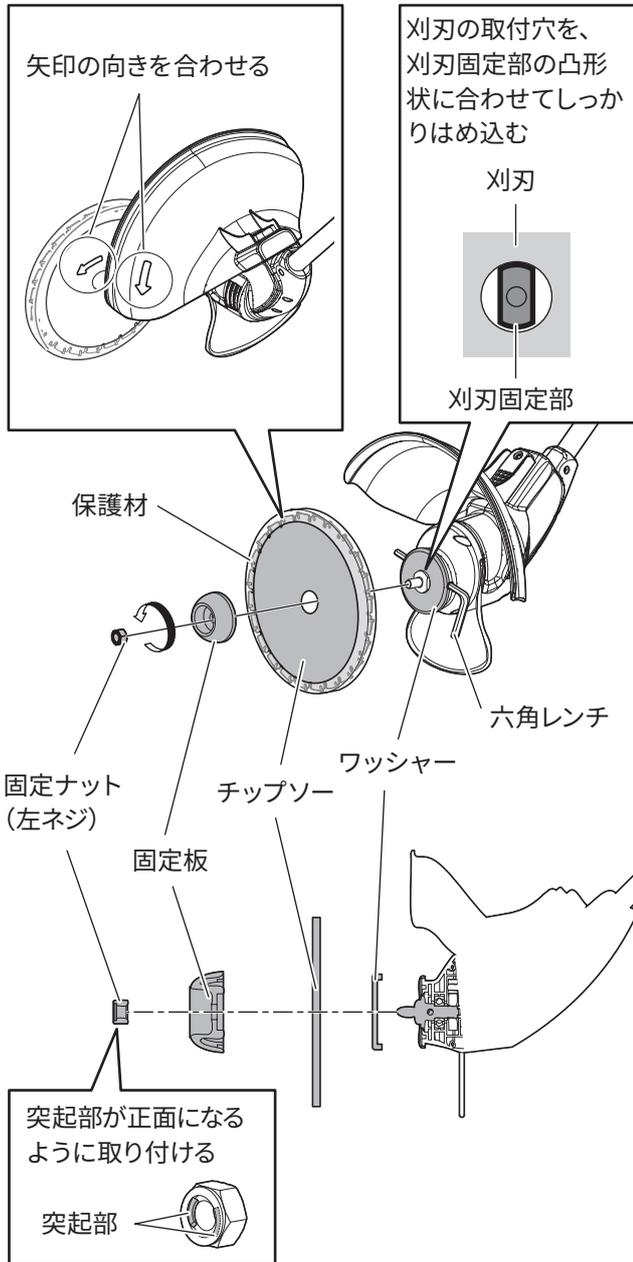
- ブレードで巻き付きが頻繁に発生するような場合はチップソーを使用してください。

刈刃

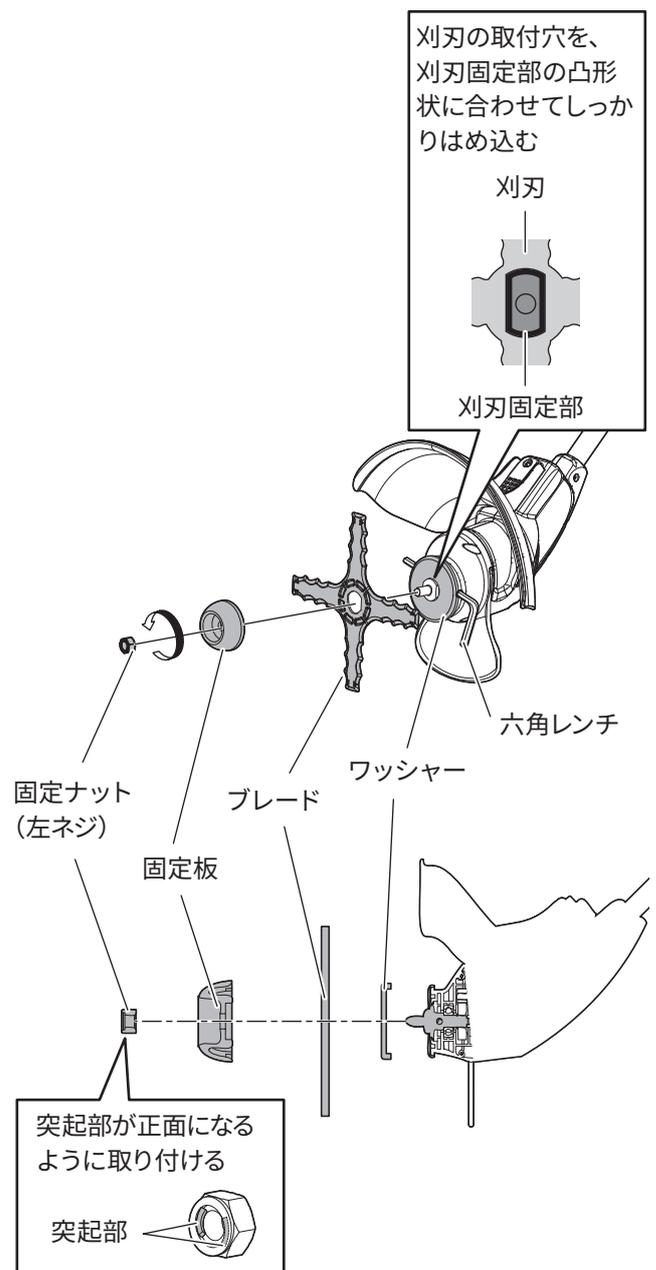
2) 仮止めする

固定板が落ちないように押さえながら、固定ナット（左ネジ）を反時計回りに手で回せなくなるまで締め付けてください。

■ チップソー



■ ブレード



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

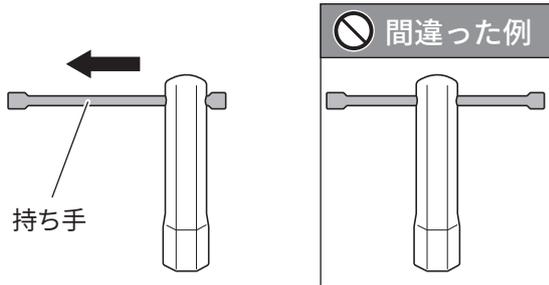
その他

刈刃

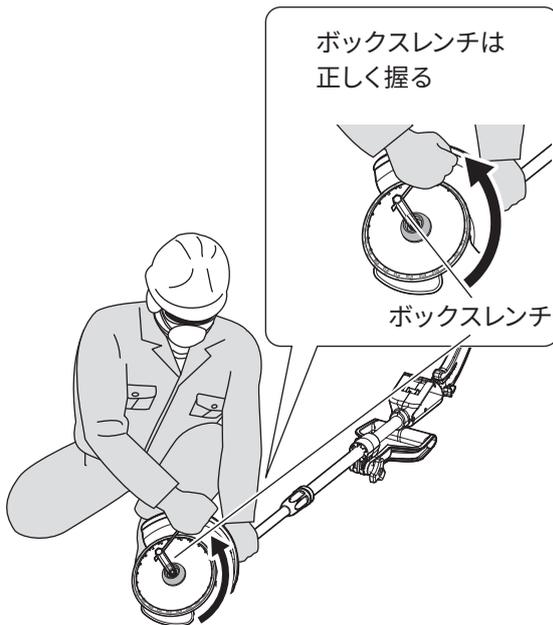
以降はチップソーを選んだ場合で説明します。
ブレードを選んだ場合も同様です。

3) 六角レンチをさし込んだまま、ボックスレンチで固定ナット（左ネジ）を反時計回りに回してしっかり締め付ける

- ボックスレンチは正しい状態で使用しないと、推奨締め付けトルクを満たせず、しっかり締め付けることができません。

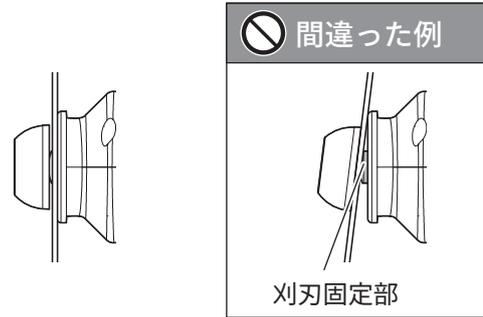


- 図の姿勢でしっかり締めると、必要な締め付けトルクで締め付けることができます。
- 強く締め付けられないときは、締め付けられる人に締め付けを依頼してください。



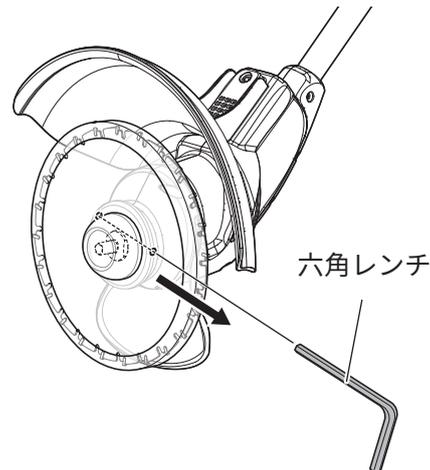
ここがポイント！

- 固定ナット（左ネジ）を締め付けているときに、刈刃固定部の凸部と刈刃の取付穴がズレることがありますので注意してください。



4) 六角レンチとボックスレンチを取り外し、チップソーを軽く回し、ガタつきがないか確認する

チップソーが正しく取り付けられていないと異常振動し、事故やケガの原因になります。
ガタつきがある場合は、もう一度チップソーを取り付け直してください。



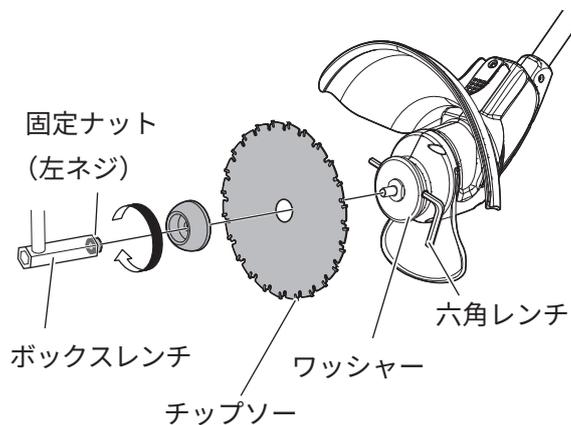
5) 取り付けが完了したら六角レンチとボックスレンチを保管する

刈刃

6) チップソーから保護材を取り外す



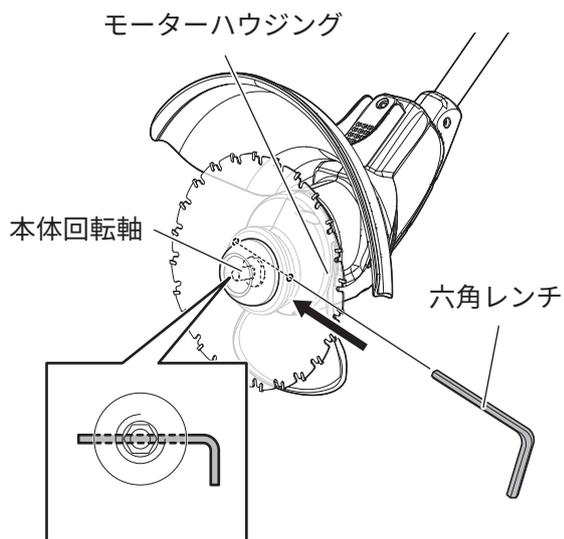
2) 固定ナット（左ネジ）をボックスレンチで時計回りに回して各部品を取り外す



3. 取り外し

1) 六角レンチをモーターハウジングの穴から奥の本体回転軸の穴までさし込む

本体回転軸が回らないよう固定されます。



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

調節

本機を正しく持ち、作業が行いやすくなるように、ループハンドルやパイプの長さを調節してください。

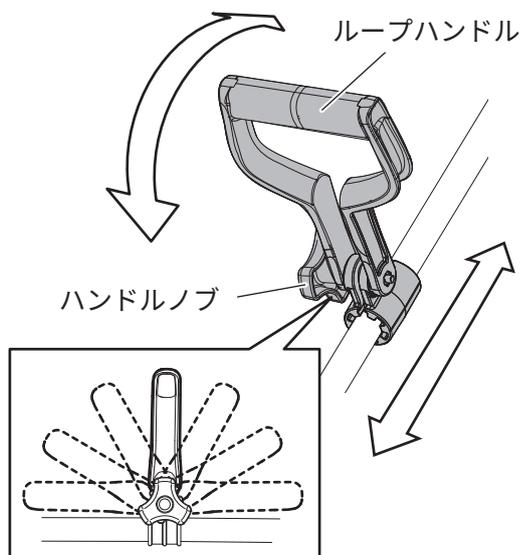


ここがポイント！

- バッテリーは取り外した状態で作業してください。

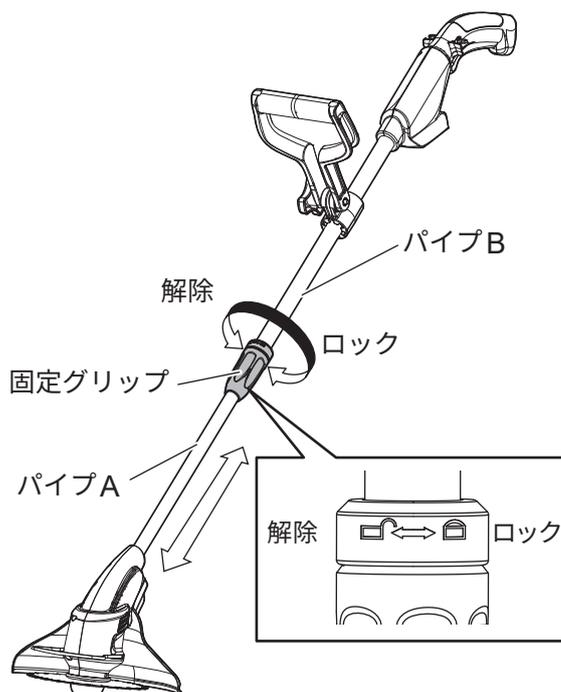
1. ループハンドルの調節

- 1) ハンドルノブを反時計回りに回してゆるめる
- 2) ループハンドルの位置および角度を調節する
- 3) ハンドルノブを時計回りに回してしっかりと固定する



2. パイプの長さ調節

- 1) 固定グリップを解除方向 (☐) へ回してゆるめる
- 2) パイプAを動かして長さを調節する
- 3) 固定グリップをロック方向 (🔒) へ回して締める



スイッチの操作方法

1) バッテリーを取り付ける

(14ページ「2. バッテリー」参照)

■ 刈刃を回転させるには

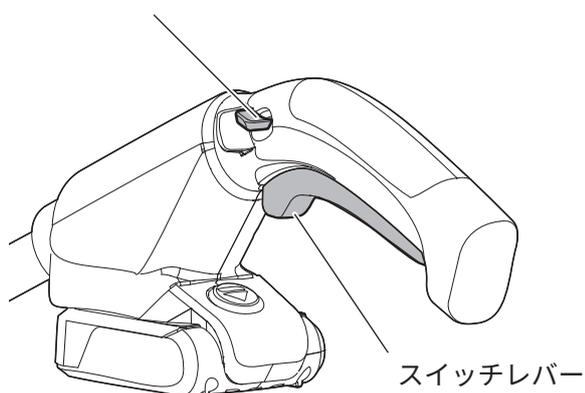
ロック解除レバーを押した状態でスイッチレバーを握ります。



ここがポイント！

- 刈刃が回転し出したら、ロック解除レバーから手を放しても回転し続けます。

ロック解除レバー



■ 刈刃の回転を止めるには

スイッチレバーから手を放します。



ここがポイント！

- 回転はすぐには止まりませんので、手などを近づけないでください。
- スイッチレバーを放すと、自動的にロック機構が働き、スイッチレバーを握れない状態になります。

運搬

本機を車両などで運搬する場合には、次のことを必ず守ってください。

1) バッテリーを本機から取り外す

バッテリーを取り付けたまま運搬すると、不意に動き事故の原因となります。



ここがポイント！

- 安全のため、パイプの長さを縮めて固定することをおすすめします。
-

2) 本機およびバッテリー、充電器が落下、転倒し、破損しないような場所を選んで積載する



ここがポイント！

- 本機を立てて運搬しないでください。
 - 衝撃を与えないでください。
 - 水にぬらさないでください。
 - 炎天下の車中など高温になるところ、火気のそば、直射日光の当たるところに長時間放置しないでください。
 - ボルト、針金、金属工具などがバッテリーおよび本機、充電器に触れないようにしてください。
一緒に持ち運ぶなどするとバッテリーがショートし、発熱、破裂、発火のおそれがあります。
-

作業前点検

作業前に必ず3ページ「安全上のご注意」をお読みください。

1. 作業前点検

本機を安全に、かつ快適にご使用いただくために点検を行ってください。

点検の結果、異常があった場合は本機を使用しないでください。

- 点検をするときはバッテリーを取り外してから行ってください。

部位	項目
各部	ネジ、ナット類のゆるみ点検
	割れ、欠け、変形、摩耗、損傷などの点検
スイッチ類	作動確認
刈刃	正しい作動およびガタつきがないか サビ、破断、固着、欠けがないかの点検
通気口（吸気）	モーター冷却用の通気口（吸気）周辺を清掃

2. 服装について

作業時は石やゴミを巻き上げたり、本機の回転部に巻き込まれるなどしてケガをするおそれがあります。

次のような安全な服装で作業を行ってください。

※手袋や帽子は付属していません。別途ご用意ください。

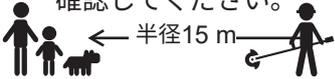


草を刈る

1. 作業時の確認事項

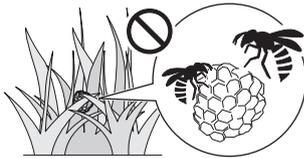
！ 正しく持つ
本機を身体の右側にし、右手で操作グリップ、左手でループハンドルを保持し、足は平均的に体重がかかるように適当に開いてください。

！ 半径15 m以内に人や動物がいないことを確認する
歩道など通行路の場所を確認してください。



！ 電線などが近くにないか作業前に充分確認する
誤って切断すると、感電のおそれがあります。本機は感電防止の絶縁処理はなされていません。

！ ハチの巣やヘビが隠れていないか確認する
付近の高所や草むらの中を静かに下見をしてください。作業音はハチに刺激を与え、ハチの出す警告音をかき消します。



電線など

水たまり

ガラス窓
車など

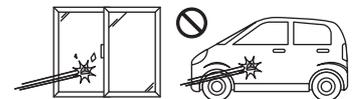
！ 小石や空き缶など障害物、地面の凸凹が草に隠れていないか確認する
飛散すると危険ですので、取り除いてください。



！ 水田など水たまりがないか確認する
回転部が巻き上げた水がモーター部に入り故障の原因になります。



！ 傷をつけたくない物が近くにないか確認する
飛散した障害物でガラスが割れたり、傷がつくおそれがありますので、板などで養生するか、移動させてください。



草を刈る

作業前に必ず3ページ「安全上のご注意」を読み、25ページ「1. 作業前点検」の操作および点検を必ず行ってください。

2. 草を刈る

- 1) バッテリーを本機に取り付ける
(14ページ「2. バッテリー」参照)
- 2) スイッチレバーを握り、刈刃を回転させる
(23ページ「スイッチの操作方法」参照)

3) 草を刈る

身体の前方で右から左へ操作しながら前進し、草を刈ってください。



ここがポイント！

- 速く動かすと草が絡みやすいため、ゆっくりと動かしてください。
- 草が絡んだらバッテリーを取り外し、絡んだ草を取り除いてください。
絡んだままの作業はモーターに負担がかかり、故障のおそれがあります。

3. 上手に草を刈るには

■ 効率的に作業するには

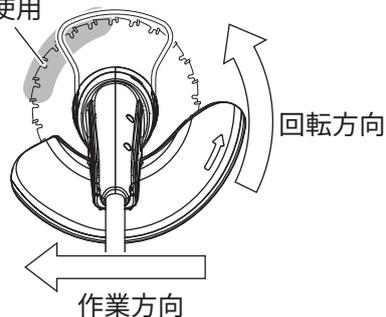
刈刃を左側へ少し傾けてください。刈った草が左側へ寄り作業しやすくなります。



■ 刈り残しをなくすには

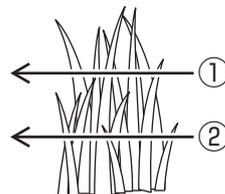
刈刃の先端から1/3の範囲を刈ってください。

刈刃の直径
1/3を使用



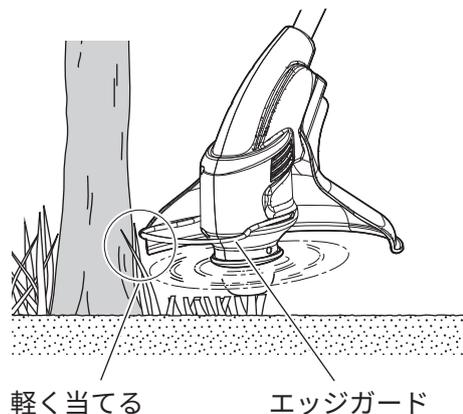
■ 高い草を刈るには

刈草が高く繁っているときは、まず草を高く刈って障害物がよく見えるようにしてから、もう一度刈り取ってください。
高さのある草を一気に刈ると刈った草が本機にからみつき、故障の原因になります。



■ キワ刈りをするには

本機を地面に接触しない高さで傾けて保持し、エッジガードの先端を木や庭石に軽く当て、刈刃が木や庭石に当たらないよう注意しながら草を刈ります。
ブレードを使用するとより安全に作業ができます。



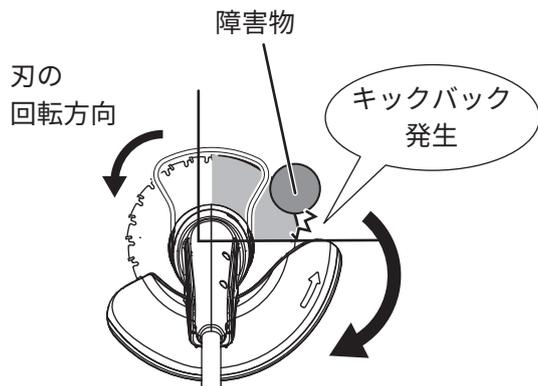
ここがポイント！

- 刈刃を樹木やブロックなどに当てないでください。
キックバック（跳ね返り）が起こりケガをするおそれがあります。

草を刈る

■ キックバック（跳ね返り）について

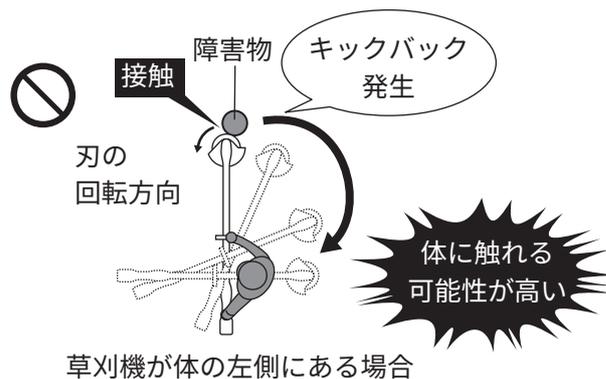
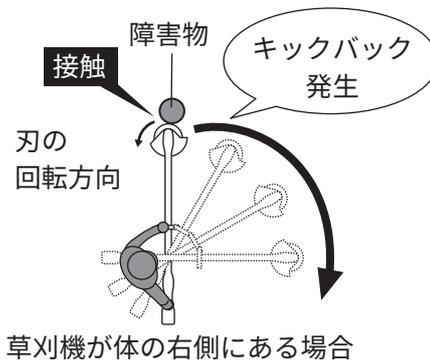
- 作業中に、刈刃の先端から右側部分が石などの障害物や硬い地面に当たると、刈刃の回転で障害物を駆け上がる力が働き、作業者の右側に向かって跳ね返すキックバックが発生します。



- 小石や空き缶などに刈刃が当たって、キックバックを起こすことがあります。周りに障害物がないかよく確認してください。



- 万一キックバックが発生しても、危険性を最小限にするため、本機を身体の右側にして作業してください。作業者を中心にして、刈刃が回転するため、身体に直接接触する危険性が少なくなります。



草を刈る

4. 保護機能について

モーターやバッテリーを守るため、本機には保護機能がついています。

本機が高温になると保護機能により自動停止します。

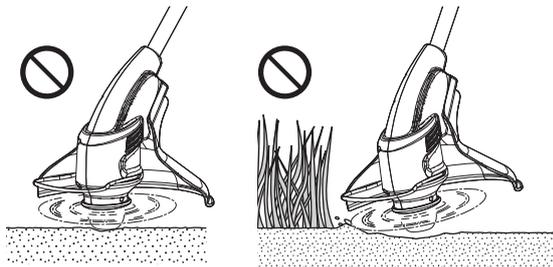
草絡みなどがある場合は取り除いてください。

取り除いても動作しない場合は、20分程度、日陰に置き冷ましてください。

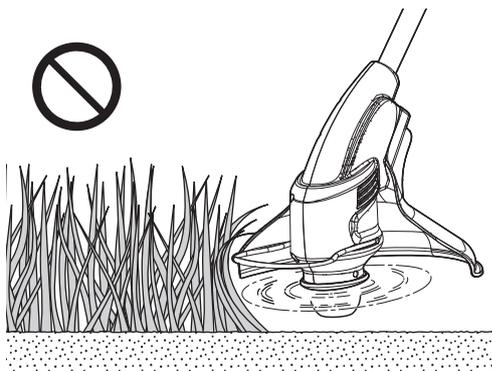


ここがポイント！

- 本機を地面に当てたり、地面を掘り返すような使い方はしないでください。モーターに過剰な負担がかかり、故障の原因になります。



- 密集した草の中に本機を押し付けないでください。



- モーター冷却用の通気口付いた草や土は、詰まらないように取り除いてください。故障の原因になります。

5. 連続使用

目安として、満充電のバッテリーを1回使い切る毎に、20分程度の休憩をとってください。その際、本機・バッテリーは日陰に置き冷ましてください。熱による本機、充電器、バッテリーへのダメージを防ぎます。

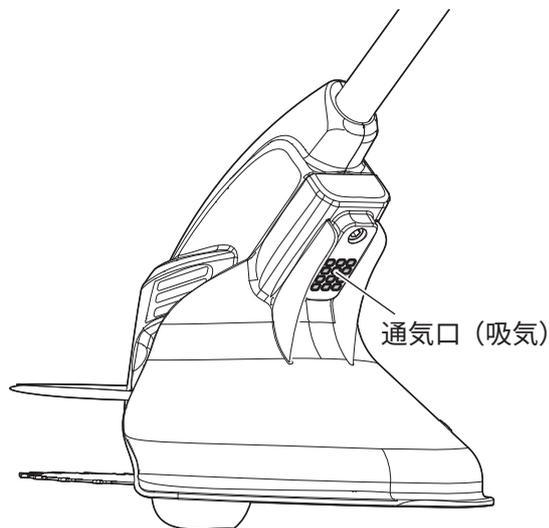
お手入れと保管

1. お手入れ

1) バッテリーを取り外す

バッテリーを本機に取り付けたまま行くと、事故の原因になります。

2) ブラシなどで刈刃やモーター冷却用の通気口（吸気）周辺の草や土を落とす



3) 乾いた布で全体をきれいに拭く

汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を布につけて拭き、その後乾いた布で拭いてください。水分が残るとサビや故障の原因となります。



ここがポイント！

- 水およびガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。サビや故障の原因になります。

4) バッテリーを充電する

バッテリーの劣化を防ぎます。

2. 保管

1) 「お手入れ」をすべて行う

(前項「お手入れ」参照)

2) パイプの長さを最も短くする

(22ページ「2. パイプの長さ調節」参照)

3) バッテリーが取り外されていることを確認する

4) 次のような場所を避けて保管する

- 乳幼児、子どもの手の届く所や簡単に持ち出せる所
- 熱源のそばや、真夏の閉め切った自動車内など高温になる所
- 湿気の多い所
- 湿度や温度の急変する所
- 直射日光の当たる所
- 揮発性物質の置いてある所



ここがポイント！

- 飛散防護カバーや刈刃に負担がかかる状態で保管しないでください。変形、破損する可能性があります。

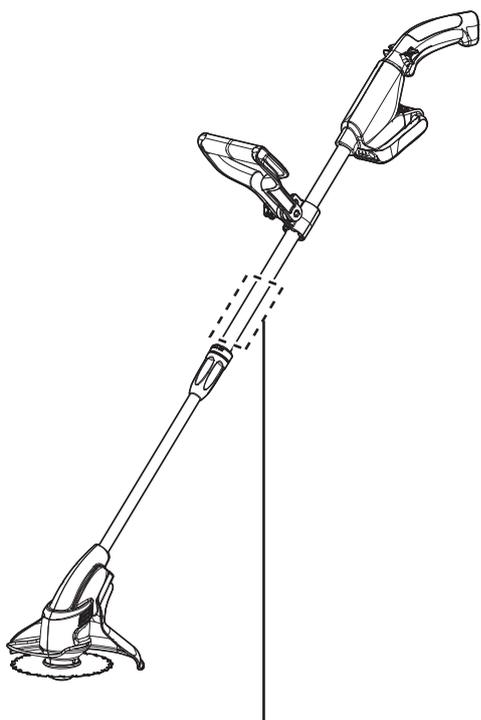
3. 長期保管

バッテリー保護のため、バッテリーを充電してから保管してください。また、その後も1年に1回は充電してください。

整備

1. ラベル

- ラベルははっきり見えるように、常にきれいに保ってください。
- ラベルが汚れて見えなくなった場合や、紛失した場合には、購入店へ注文し貼り替えてください。またラベルが貼られている部品を交換する場合、ラベルも新しいものに交換してください。

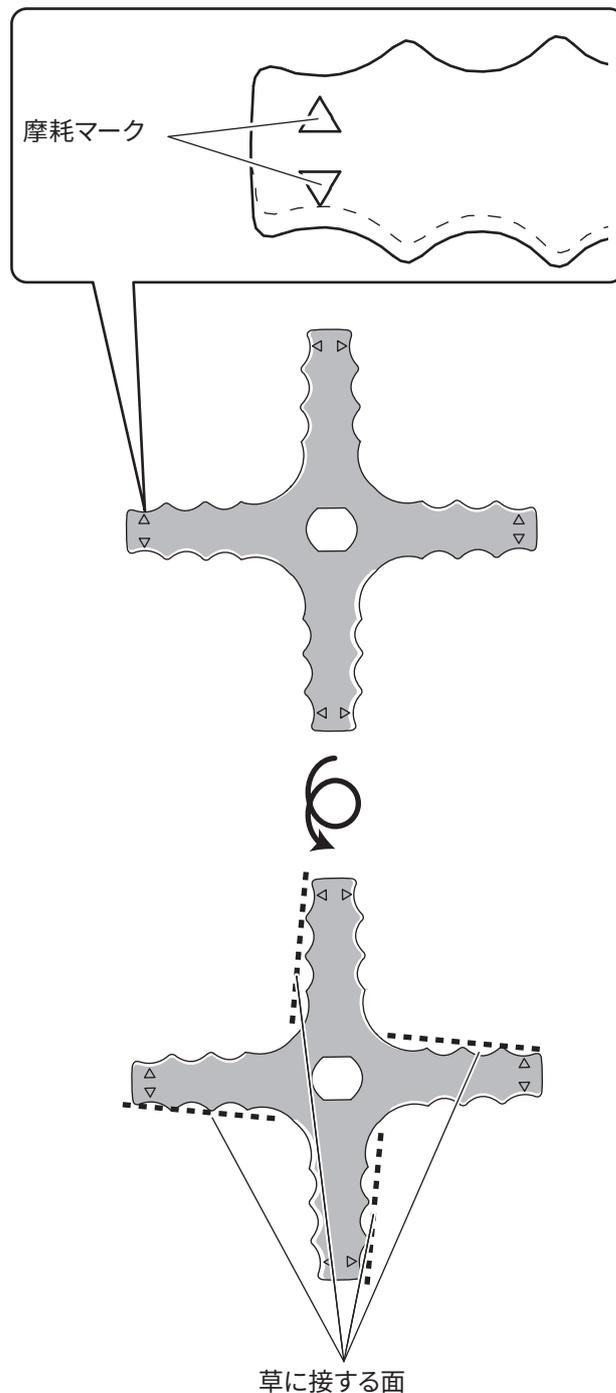


 危険	作業中は半径15m以内に他の人や動物を近づけない	満充電のバッテリーを使い切ることにより約20分休憩する
 警告	•使用前に取扱説明書を必ずよく読む •作業後および刈刃の取り付け、取り外しの際は、必ずバッテリーを本機から取り外す	

2. ブレードが削れてきたら

ブレードが摩耗して摩耗マーク（△マーク）の先端が削れてきたら、ブレードを裏返して取り付け直してください。

上から見た図



両面使用したら新しいブレードに交換してください。摩耗して切れ味が悪くなったブレードで刈り続けると、本体に過負荷がかかり故障するおそれがあります。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

お客様で分解・修理は絶対にしないでください。

点検・修理は本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

■ 本機

症状	考えられる原因	処置	参照ページ
草刈り時に停止する	回転部、飛散防護カバーなどに異物が挟まっている	異物が挟まっていないか点検・確認し、異物を取り除く	27
	切断対象が硬すぎるなどして過負荷がかかっている	負荷を減らす	—
	本機またはバッテリーの温度が高い（使用状況、または炎天下の自動車内に保管したことなどによる）	本機およびバッテリーを風通しの良い日陰などに置き冷ます（水にぬらさない）	12
	バッテリーの容量が少なくなっている	充電を行う	13
レバーを握っても動作しない	温度異常または過電流	本機およびバッテリーを風通しの良い日陰などに置き冷ます（水にぬらさない）	12
パイプの長さが調整できない	ロックがかかっている	固定グリップを解除方向へ回す	22
	外部からの衝撃などにより破損した	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください	—
本機から異音がしている	回転部、飛散防護カバーなどに異物が挟まっている	異物が挟まっていないか点検・確認し、異物を取り除く	27
	モーターが焼けている	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください	—
通気口内部に火花が見える	モーターの仕様であり、異常ではありません	—	—

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

■ バッテリー

症状	考えられる原因	処置	参照ページ
満充電してもバッテリー残量がいつもより早くなる	想定を上回る硬さの切断対象、または長時間使用している	本機の能力に見合った対象・時間で使用する	34
	気温が低く、バッテリーの温度が低すぎる	バッテリーを使用環境温度が5～40℃の室内にしばらく放置する（推奨：10～30℃）	12、34
	充放電を繰り返し、バッテリーが劣化した	新しいバッテリーに交換する（バッテリーの寿命）	12
充電に時間がかかる	バッテリーの温度が低い	バッテリー温度が低いと充電しにくいことがあるため、充電は使用環境温度が5～40℃の範囲で行う（推奨：10～30℃）	12、34
	バッテリー残量がとても少ない	そのまま充電を続ける	—
充電ができない：充電器のランプが、緑点灯から赤点灯に切り替わらない	本機またはバッテリーの温度が高い（使用状況、または炎天下の自動車内に保管したことなどによる）	本機またはバッテリーを風通しの良い日陰などに置き冷ます（水にぬらさない）	12
	バッテリーが充電器の奥までしっかりさし込まれていない	奥までしっかりさし込む	13
充電ができない：充電器のランプが消灯のまま	充電器の電源プラグが奥までしっかりさし込まれていない	奥までしっかりさし込む	13
	バッテリーまたは充電器が破損している ※	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください	—

※ 破損の原因になる例

炎天下の自動車内など、著しい高温または低温にさらした／金属などが端子に触れた／水または火、揮発性の物質などに触れた／落下による衝撃／液漏れなど。

仕様

1. 主な仕様

機種名	SGC-180	
製品名	充電式草刈機	
用途	雑草の草刈り	
刈刃	φ160 mm	
電動機	ブラシモーター	
電圧	DC 18 V	
回転数（無負荷）	6,500 min ⁻¹	
運転時間（満充電・無負荷） ^{※1}	PA-332：約50分	（別売品）PA-380：約60分
使用環境温度	5～40 °C	
製品寸法	長さ 1050～1350×幅 240×高さ 190～235 mm	
製品重量	2.0 kg（バッテリーなど付属品を含む）	

2. バッテリー

機種名	PA-332	（別売品）PA-380
製品名	18 Vバッテリー（2.0 Ah）	18 Vバッテリー（2.5 Ah）
種類	リチウムイオンバッテリー	
充電時間 ^{※2}	約60分	約75分

3. 充電器

機種名	PA-430
製品名	18 V 急速充電器 II
入力電圧 ^{※3}	AC 100 V
入力周波数	50-60 Hz
入力電力	50 W
出力電圧	DC 21.5 V
出力電流	DC 2.0 A
使用環境温度	5～40 °C

※1 1充電あたり。気温など状況により異なります。

※2 気温やバッテリー残量などにより異なります。特に長期保管後は長くなることがあります。

※3 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用したりしないでください。発熱・火災のおそれがあります。

パーツのご注文は

パーツは、必ず指定のものをご使用ください。

パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。
また、弊社ウェブサイトにてパーツ表、価格をご覧いただけます。

1. ご注文時のお願い

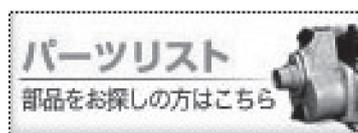
部品番号（7～9桁）または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

2. パーツ表・価格

1) <https://www.koshin-ltd.co.jp>へ
アクセス



2) トップページ「パーツリスト」バナー
をクリック



3. 主なパーツ

名称	機種名・JAN	備考
18 Vバッテリー（2.0 Ah）	機種名：PA-332 JAN：4971770-560154	専用充電器：PA-430、PA-333
18 Vバッテリー（2.5 Ah）	機種名：PA-380 JAN：4971770-560192	専用充電器：PA-430、PA-333
18V急速充電器II	機種名：PA-430 JAN：4971770-560727	—
SGC チップソー	機種名：PA-521 JAN：4971770-561809	1枚入り
SGC ブレード	機種名：PA-522 JAN：4971770-561816	5枚入り

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

KOSHIN 保証書

レシート(販売証明書)と
共に保管してください

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無償修理をお約束するものです。なお、本書によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無償修理いたします。製品と本書、レシート(販売証明書)をご準備のうえ「工進修理受付窓口」へご相談ください。

機種	充電式草刈機 SGC-180	*お買い上げ日		年	月	日	
保証期間	お買い上げ日より1年間		*購入店	〒			
お客様	*お名前			住所			
	*ご住所	〒			店名		
	電話	()			電話 ()		

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

<保証契約約款>

- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 〈イ〉不適切な使用、改造、取扱説明書に記載されている保守・点検以外の分解や修理、弊社指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷、日常点検やお手入れ、整備を怠ったことにより生じた不具合。
 - 〈ロ〉お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
 - 〈ハ〉火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用(電圧、周波数、使用液、使用燃料など)や、使用環境要因による故障または損傷。
 - 取扱説明書に記載の用途以外の目的に使用による故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合、また本書にお客様名、お買い上げ年月日・購入店名の記入またはレシート(販売証明書)の添付がない場合。
 - 本書の字句を書き換えられた場合。また中古販売にて購入したもの。
 - 同梱付属品、消耗品の交換。
 - 車両、船舶などへの取り付けや外部要因による故障または損傷(船舶への取り付けは弊社指定船舶用製品を除く)。
- 保証期間内でも次のものは修理および補償いたしかねます。
 - 〈イ〉機能上影響のない感覚的現象(音、振動、操作感など)や使用損耗および部品寿命による不具合。
 - 〈ロ〉製品の不具合や使用によって生じた直接ならびに間接の損害。
 - 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - 出張修理は対応いたしかねます(弊社指定製品を除く)。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。海外での購入ならびに使用については一切責任を負いません。
This warranty is valid only in Japan, also not covered for overseas purchase and use.
 - 弊社の判断により、修理に代えて同機種との交換、または同等性能を有する他機種への交換となる場合があります。

株式会社 **工進** 京都府長岡京市神足上八ノ坪12

レシート(販売証明書) 貼付位置

お問い合わせ

【個人情報のお取り扱いについて】お客様の個人情報保護方針は、弊社ウェブサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

お問い合わせの際は、

- 型式(下図参照)、
- お買い上げ年月日、
- 故障状況 など

をお知らせください。

※本体または梱包箱に貼付しています。
一部ラベルのない製品もございます。



■ 製品・パーツの販売についてのお問い合わせは

購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

■ 製品の修理に関するお問い合わせは.....工進修理受付窓口へ

保証期間経過後の修理などについてもご相談ください。

電話 **0120-987-386** 平日: 9:00~17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ウェブサイトにてご案内します。

ダイレクト修理 ※北海道・沖縄を除く

- ①お電話またはメールで連絡
- ②修理品をお預け(宅配業者が取りに伺います)
- ③センターで修理
- ④ご自宅までお届け
- ⑤お支払いはクレジットカードまたは代引き

株式会社 **工進**



〒617-8511
京都府長岡京市神足上八ノ坪12

<https://www.koshin-ltd.co.jp>

■ 製品に関するお問い合わせは.....お客様相談窓口へ

Q&A Eメール お客様サポートページ

電話 **0120-075-540** 平日: 9:00~17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ウェブサイトにてご案内します。